

# 第40期 事業報告書

平成16年4月1日～平成17年3月31日

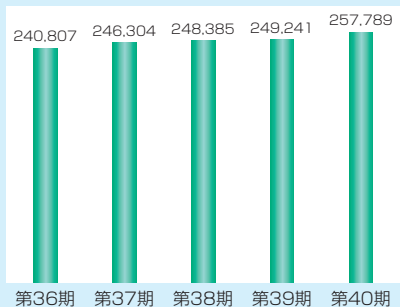
Security  
On

**ALSO**K

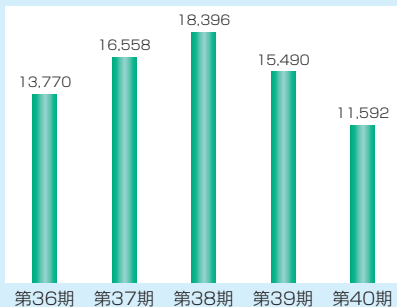
綜合警備保障

# 第40期連結決算ハイライト

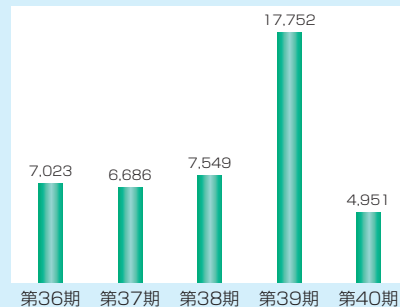
売上高 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)

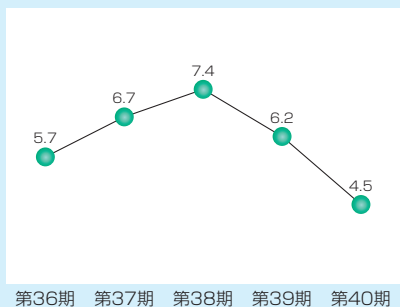


当期純利益 (単位:百万円)

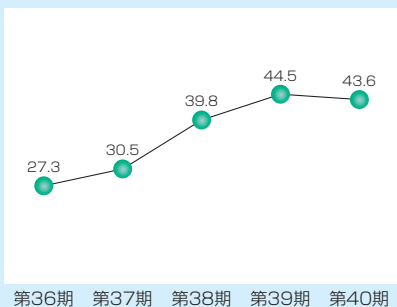


(注) 第39期は厚生年金基金の代行部分を返上したことに伴い19,666百万円の特別利益を計上しております。

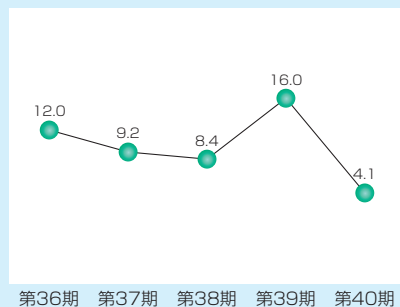
売上高経常利益率 (単位:%)



自己資本比率 (単位:%)

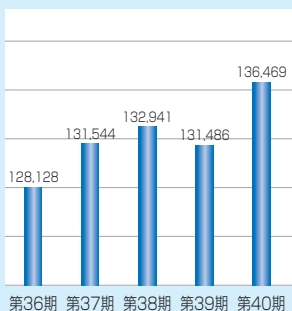


株主資本当期純利益率 (単位:%)

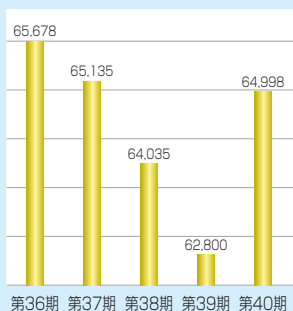


## セグメントレビュー (売上高)

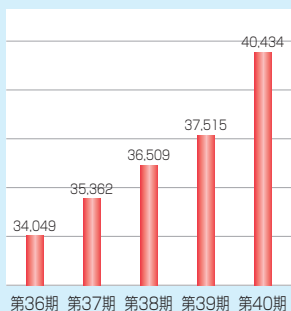
機械警備業務 (単位:百万円)



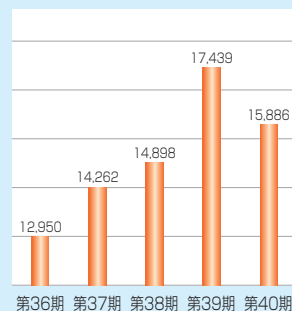
常駐警備業務 (単位:百万円)



警備輸送業務 (単位:百万円)



その他の事業 (単位:百万円)





代表取締役社長

**村井 温**

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。ここに第40期事業報告書（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）をお届けいたします。

さて、政府広報室が発表した「社会意識に関する世論調査」によると、国民が感じている悪い方向に向かっている分野のトップは、国内治安のようです。

こうした世情に加え、個人情報保護法の施行や消防法改正による防災対象施設の増加から、機密保持や防災に絡むセキュリティニーズが増加し、警備市場は更に拡大しています。

このように拡大し続けるマーケットに向け、第40期に当社は、営業拠点の増設と営業マンの増員を実施し、販売の強化と営業体制の基盤固めを行いました。

また、第40期は、「ホームセキュリティ」市場に注力し、平成16年11月から、新たなるユーザー層をターゲットとした新商品「ホームセキュリティ7」を販売いたしましたところ、価格的な手頃感をご好評を頂き、計画を上回る販売成果を挙げる事ができました。

当社は本年、創立40周年の節目を迎えますが、引き続き営業強化の推進と創業以来の経営方針である、「立派な警備の提供」を堅持し、市場ニーズを的確に捉えた商品・サービスの提供を通じて業績の向上に努めて参る所存です。

株主の皆様におかれましては、何卒今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月



## 低コストで大きな安心が得られる「ALSOKホームセキュリティ7」

日常茶飯事となった空き巣や強盗。日本もついに“自分の身は自分で守る”時代になったのです。その解決策のひとつとして、今注目を集めているのが平成16年11月からスタートした、ALSOKの新しい警備サービス「ホームセキュリティ7」です。

銀行やオフィスビル、ショッピングセンターなど法人向けサービスで蓄積したノウハウと最新システムを導入。しかも、コストを大幅に削減し、手頃な料金でのご利用を実現した画期的な家庭向け警備サービスです。ニーズはありながらも、料金面で導入に踏み切れなかったお客様にも、きっと満足していただけると考えています。

「侵入感知」「非常通報」「火災感知」の基本機能に加え、もしもの時にはガードマンが駆けつけるサービスも備わっています。こじ開けなどによるドア・窓からの侵入を感知。身の危険を感じたときや、病気やケガなどの緊急事態が発生したときも非常ボタンを押すだけで、すぐに助けを求めることができます。また、室内温度の異常上昇も感知し、火災の早期発見ができます。

警備中に異常が発生した場合は、直ちにALSOKガードセンターに通報され、ガードマンが自宅に急行します。

ホームセキュリティの新提案。月々4,000円台からの

# ALSOホームセキュリティ<sup>7</sup> セブン



ご家庭に安心をお届けすることを目指し、月々4,000円台（機器お買上げなら2,000円台）からと、これまでにない画期的な警備料金を設定いたしました。

侵入感知・非常通報・火災感知の基本機能に加え、もしもの時はガードマンが駆けつけるなど、高品質のサービスがご利用いただけます。

サンキュー ツヨイミカタ  
☎0120-39-2413 年中無休・24時間受付

## ～防犯～ 侵入感知

外出中も安心



こじ開けによる、  
ドアや窓の開閉を  
感知します。

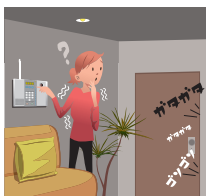
ガラス破りなどによる、  
窓からの侵入を  
感知します。

※監視エリアはイメージです。



## ～非常～ 非常通報

緊急時も安心



身の危険を感じたら、  
非常ボタンを押す  
だけで通報できます。

急病やケガなどの  
緊急事態でも、  
非常ペダントを  
押すだけで  
通報できます。



## ～火災～ 火災感知

まさかの  
火災でも安心



急激な温度の  
上昇を感知します。



## ホームページを全面刷新、IRサイトが充実

より多くの方にALSOKについてより深くご理解いただけるよう、平成17年4月1日よりホームページを一新。コンテンツの再構築を行うとともに、文字を大きくするなど、より見やすく、楽しくリニューアルしました。

また、個人投資家の皆様にALSOKをよりご理解していただくための「個人投資家の皆様へ」というコンテンツを設け、IR情報を一層充実させました。

ホームページでは、ALSOKの最新情報をはじめ、個人及び法人のお客様向けサービスや防犯グッズのご紹介・オンライン販売、防犯のミニ知識、さらに、ALSOKの社会活動なども合わせてご紹介。より身近で信頼できる警備会社であることをご理解いただけるよう、ALSOKのすべてをご紹介しています。



## ●365日24時間活躍しているALSOK警備員の舞台裏

毎日の安心を守る。それが私たちALSOKの使命です。では、実際にガードマンの出動は、どのように行われているのでしょうか、その舞台裏をご紹介します。

まず、警報はどのようにガードマンに伝わるのか。そこからお話ししましょう。警報がでると同時に、ALSOKガードセンターから担当ガードマンに「現場に急行せよ！」との指令が飛びます。無線やモバイル端末を使って、スピーディかつ確実に指令が届きます。

もし、担当ガードマンが別の現場に出動していた場合は、すぐ次の担当に指示がまわります。次がダメならさらに次の担当へと二重三重の体制が整っています。いつ、どこで、何が起ころうとも、素早く確実に。それが警備の基本中の基本ですから。

出動指令と同時にどんな種類の警報かが届きます。火災警報か、侵入警報かというものです。さらに現場の状況もかなりの情報が入手できます。たとえば侵入警報の場合、どこから侵入したか。いま侵入者は家のどこに潜んでいるか。

また、法人向けシステムでは画像が送られてくるも



のもあって、侵入者が何人いるかなど、さらに詳しい状況がわかります。このようなシステムのおかげで、現場に到着した時、どの位置に向かえばいいかなど、的確な行動が素早くとれるのです。“機械警備”が進化した今は、かつては防げなかった被害も未然に防ぐことができるのです。

あわせて、どうすれば現場に早く着けるかも考えなければなりません。最短ルートはどこか。時間帯による自然渋滞、道路工事はあったかなどを考えながら、最速のルートを選択します。また、侵入者に気づかれないよう、クルマを停める位置などにも気を使います。さらに、どういう姿勢でどこから建物に近づくかなど、細心の注意をもつてのぞむのです。

現場に到着したら素早く行動を起しますが、それには普段から警備対象の建物をしっかり把握しておくことが重要です。たとえば建築構造上、防犯の弱点になりそうな部分があれば、それを考慮したうえで一瞬一瞬あらゆる角度から判断し、行動して被害の拡大防止に努めます。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第40期	第39期
	平成17年3月31日現在	平成16年3月31日現在
<b>■資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	90,186	96,492
受取手形及び売掛金	17,970	16,185
有価証券	539	663
たな卸資産	4,514	3,778
立替金	25,700	16,912
繰延税金資産	6,051	3,305
その他	6,101	4,715
貸倒引当金	△163	△164
<b>流動資産合計</b>	<b>150,901</b>	<b>141,889</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	19,254	16,277
機械装置及び運搬具	18,319	17,537
土地	17,103	16,400
建設仮勘定	865	1,376
その他	3,651	3,550
<b>有形固定資産合計</b>	<b>59,194</b>	<b>55,141</b>
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	2,972	3,336
連結調整勘定	853	872
その他	2,622	495
<b>無形固定資産合計</b>	<b>6,448</b>	<b>4,704</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	29,801	28,413
長期貸付金	2,016	2,066
敷金保証金	8,915	8,981
保険積立金	5,720	4,933
前払年金費用	1,380	—
繰延税金資産	17,436	22,392
その他	2,621	2,500
貸倒引当金	△2,230	△2,211
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>65,662</b>	<b>67,075</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>131,305</b>	<b>126,922</b>
<b>資産合計</b>	<b>282,206</b>	<b>268,812</b>

### 流動資産の増減要因

#### 現金及び預金の減少

- ・一部の子会社による厚生年金基金への一括拠出

#### 立替金の増加

- ・入金機オンラインシステムに係る警備輸送業務用現金の立替金の増加  
(入金された契約先の売上金を当社が立替えて、契約先の口座に振込入金を行う資金)

### 固定資産の増加要因

#### 建物及び構築物の増加

- ・子会社の警備施設の建設

#### 機械装置及び運搬具の増加

- ・受注増に伴う警報機器設置の増加

#### 無形固定資産(その他)の増加

- ・新基幹業務システムへの投資等

科 目	第40期	第39期
	平成17年3月31日現在	平成16年3月31日現在
<b>■負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	8,969	8,284
短期借入金	47,075	31,304
1年以内償還予定の社債	100	—
未払金	10,900	11,072
未払法人税等	1,325	3,546
未払消費税等	1,367	1,797
賞与引当金	5,275	5,167
その他	7,890	7,907
<b>流動負債合計</b>	<b>82,903</b>	<b>69,079</b>
<b>固定負債</b>		
社債	12,000	1,100
長期借入金	12,881	16,004
繰延税金負債	9	—
退職給付引当金	30,502	43,845
役員退職慰労引当金	2,350	2,213
その他	2,931	2,587
<b>固定負債合計</b>	<b>60,675</b>	<b>65,750</b>
<b>負債合計</b>	<b>143,579</b>	<b>134,830</b>
<b>■少数株主持分</b>		
少数株主持分	15,458	14,449
<b>■資本の部</b>		
資本金	17,152	16,966
資本剰余金	31,600	31,755
利益剰余金	77,444	74,181
土地再評価差額金	△5,585	△5,585
その他有価証券評価差額金	2,583	2,239
自己株式	△25	△24
<b>資本合計</b>	<b>123,169</b>	<b>119,532</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>282,206</b>	<b>268,812</b>

### 流動負債の増加要因

#### 短期借入金の増加

- ・警備輸送業務用現金の資金調達

### 固定負債の増減要因

#### 社債の増加及び退職給付引当金の減少

- ・厚生年金基金への一括拠出



## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第40期	第39期
	平成16年4月 1日から 平成17年3月31日まで	平成15年4月 1日から 平成16年3月31日まで
売上高	257,789	249,241
売上原価	192,405	182,902
売上総利益	65,383	66,339
販売費及び一般管理費	54,421	51,860
営業利益	10,962	14,478
営業外収益		
受取利息	257	198
受取配当金	371	296
投資有価証券売却益	33	110
受取賃貸料	350	282
受取保険差益	165	216
持分法による投資利益	294	540
その他	1,079	1,116
営業外収益合計	2,552	2,762
営業外費用		
支払利息	733	763
投資有価証券売却損	13	—
固定資産除却損	461	599
社債発行費償却	193	—
その他	519	387
営業外費用合計	1,922	1,750
経常利益	11,592	15,490
特別利益		
厚生年金基金代行部分返上益	—	19,666
投資有価証券売却益	700	—
特別損失		
投資有価証券評価損	96	442
投資有価証券売却損	—	438
固定資産処分・評価損	—	608
棚卸資産処分・評価損	—	299
特別加算退職金	220	179
貸倒引当金繰入額	—	1,323
その他	—	70
特別損失合計	317	3,363
税金等調整前当期純利益	11,974	31,792
法人税、住民税及び事業税	3,129	7,238
法人税等調整額	2,648	5,820
少数株主利益	1,244	980
当期純利益	4,951	17,752

### 売上高の増加要因

#### 機械警備業務

- ・法人向けの新規受注の増加
- ・「[ALSOKホームセキュリティ]」の発売

#### 警備輸送業務

- ・「コンビニATM」の受注増加
- ・「入金機オンラインシステム」の受注増加

### 売上原価の増加要因

#### ・労務費の増加

- ・受注増に伴う工事・売却原価の増加

### 販売費及び一般管理費の増加要因

- ・人件費の増加
- ・外形標準課税の導入

## 連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	第40期	第39期
	平成16年4月 1日から 平成17年3月31日まで	平成15年4月 1日から 平成16年3月31日まで
■資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	31,755	29,824
資本剰余金増加高	39	2,728
連結子会社減少に伴う増加	—	2,728
ストックオプション行使による払込金	39	—
資本剰余金減少額	194	796
利益剰余金への振替	194	—
連結子会社減少による減少	—	796
資本剰余金期末残高	31,600	31,755
■利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	74,181	61,110
利益剰余金増加高	5,146	17,763
当期純利益	4,951	17,752
資本剰余金からの振替	194	—
連結子会社減少に伴う増加高	—	10
利益剰余金減少高	1,883	4,693
配当金	1,706	2,006
役員賞与	177	230
連結子会社減少に伴う減少高	—	2,455
利益剰余金期末残高	77,444	74,181

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第40期	第39期
	平成16年4月 1日から 平成17年3月31日まで	平成15年4月 1日から 平成16年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,820	10,852
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,161	△10,697
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,531	7,876
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	△1,450	8,031
現金及び現金同等物の期首残高	45,814	37,782
現金及び現金同等物の期末残高	44,364	45,814

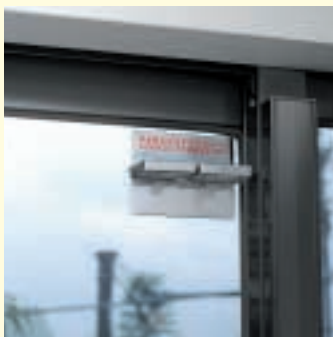
### 営業活動によるキャッシュ・フローの減少要因

- ・税金等調整前当期純利益の減少
- ・警備輸送業務用立替金等の増加による資金の減少

## ●ALSOKおすすめの住宅防犯対策

侵入に手間がかかる住宅。防犯システムが整っている住宅。これが泥棒が侵入をためらうポイントのようです。とはいえ、普段の暮らしに大きな影響を与えるような防犯対策には、ちょっと尻込みしてしまうのが正直な思い。ALSOKがおすすめする防犯対策はどうか、ご紹介いたしましょう。

「ALSOKロック」は、設置が簡単な補助錠です。取り付けはシールタイプで、ガラス面に直接貼るだけの手間いらず。しかも操作は、ふたつのロック板を立てるだけで窓を強固にロックします。ロック板のひとつを



施錠したまま換気ができる▶



◀表面から見たALSOKロック

倒せば、施錠したまま少しだけ窓を開けられるので換気も可能です。また、ガラスに貼り付けるシール面には「ALSOK」のマークがプリントされ、空き巣への心理的な抑止効果も期待できます。手軽で確実な補助錠は、ご家庭におすすめの防犯対策です。

ホームセキュリティシステムを導入することで防犯効果はさらにアップします。火災などへの備えも整い、安心をさらに大きくすることができます。このシステムは、防犯・非常・火災等の各種センサーの監視により、万一の際、被害の拡大防止に努めます。各種センサーが異常を感知すると電話回線を通じてALSOKガードセンターに通報。そこから指令を受けたALSOKガードマンが365日24時間、迅速に駆けつけます。また必要に応じてお客様の緊急連絡先や110番・119番への通報も行います。

ALSOKのホームセキュリティのご契約者のお宅の「ALSOK警備ステッカー」は空き巣への心理的抑止効果も抜群です。



### 全国各地で行われている「ALSOKあんしん教室」

ALSOKは創業以来の企業コンセプトである「ありがとうの心」を実践するため、「ALSOKありがとう運動」をはじめとするさまざまな活動に取り組んできました。その活動の一環として平成16年10月から、神奈川県内の小学校で試行、平成17年4月からは全国で展開しているのが「ALSOKあんしん教室」です。高学年、中学年、低学年向けの3コースに分けられ、各クラス単位で授業を行います。

「あんしん教室」は、子供たちに「防犯」を意識してもらうきっかけをつくること。そして教師や保護者の方々に防犯教育のノウハウを提供することを目的とし、警備会社として、企業市民として社会的な責任を果たすために活動しています。

その第一回は、横浜市立の小学校2年生を対象に行わ

れました。“あんしんして登下校”というテーマのロールプレイングを採り入れた授業に、子供たちは熱中して取り組み、先生方にも高い評価をいただきました。昨年度、約40校で実施したところ、各地で好評となったばかりかその授業風景がテレビや新聞等で取り上げられました。

創業40周年記念行事の一環として、対象地域を全国に拡大したところ全国から一週間で約50件の申込が殺到する等注目を集めています。子供の登下校時を狙った誘拐などの犯行が増えている現在、「あんしん教室」をきっかけに子供たちと地域の防犯意識を高め、少しでも子供たちを犯罪から守り健全な成長の手助けになればと考えています。



# 創立40周年を迎えるALSOKのあゆみ

2005.11 / センサー類の無線化や緊急性の高いものだけに機能を絞り低価格で警備を提供する一般家庭向けセキュリティシステム「ALSOKホームセキュリティ」を発売



2004.5 / 防災業務の拡張と技術力強化のためホーチキ(株)と業務提携



2003.8 / ●アパート向けにリーズナブルなセキュリティシステム「ALSOKアパートガード」を発売  
●緊急事態発生時に社員とのコミュニケーションを可能にする、企業のリスクマネジメントツール「ALSOK安否確認サービス」を発売

2003.7 / 企業イメージのさらなる向上のためコーポレートブランドをSOKから「ALSOK」へ変更

2003.4 / ●常駐警備部門の一部を分社化、綜警常駐警備(株)を設立。調達部門である連結子会社の綜警電気産業(株)を吸収合併

2003.3 / 個人向け位置情報提供・現場確認サービス「あんしんメイト」を発売



1998.4 / 防犯・防災警備のほか、生活便利機能を備えた一般家庭向けセキュリティシステム「ホームセキュリティ」を発売

1983.3 / 東京都公安委員会による警備業認定証(第1号)を取得

1982.12 / ビルメンテナンス業務の強化のため、三菱電機・菱電サービス(株)[現、三菱電機ビルテクノサービス(株)]と業務提携

1979.10 / 消防用設備の定期点検業務を開始

1978.2 / 東京都港区元赤坂一丁目6番6号に本社移転

1975.1 / 無人店舗のCDコーナーを制御する金融機関向けサービス「アマンドシステム」が稼働



1970.3 / 日本万国博覧会において常駐警備を実施

1967.9 / 当社初の機械警備システム「総合ガードシステム」を発売



1965.7 / 東京都千代田区内幸町二丁目20番に会社設立

2005

2004

2003

2002

2001

2000

1999

1998

1997

1996

1995

1994

1993

1992

1991

1990

1989

1988

1987

1986

1985

1984

1983

1982

1981

1980

1979

1978

1977

1976

1975

1974

1973

1972

1971

1970

1969

1968

1967

1966

1965

2009

2008

2007

2006

2005

2004

2003

2002

2001

2000

1999

1998

1997

1996

1995

1994

1993

1992

1991

1990

1989

1988

1987

1986

1985

1984

1983

1982

1981

1980

1979

1978

1977

1976

1975

1974

1973

1972

1971

1970

1969

1968

1967

1966

1965



2002.10 / 東京証券取引所市場第一部へ上場



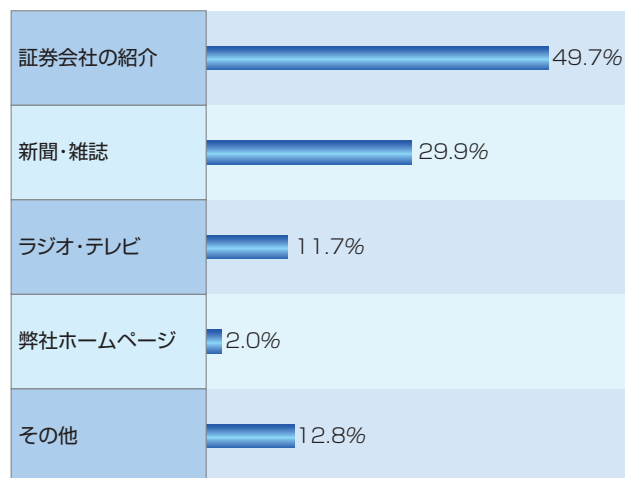
1997.10 / 現金処理に係る要員の省力化・設備コストの削減に効果を発揮する「入金機オンラインシステム」を発売

1994.11 / ガードセンターにおいて現場の状況を画像と音声で認識できる「ピクルス」を発売

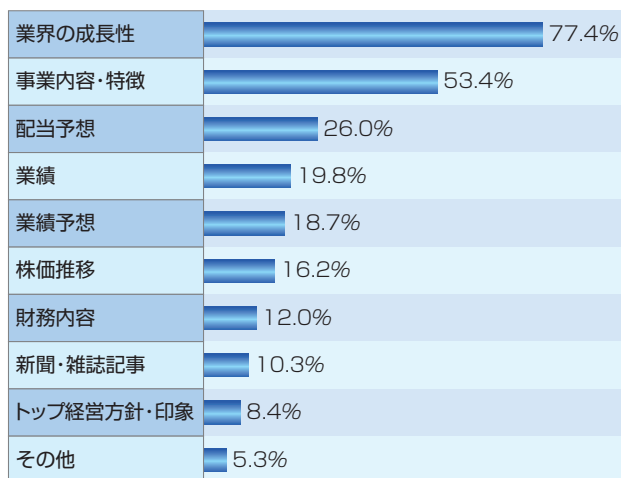
# 皆様からの声をお聞きして。

昨年12月にお届けした第40期中間事業報告書での、株主の皆様からお寄せいただいた声の中から、いくつかをご報告いたします。

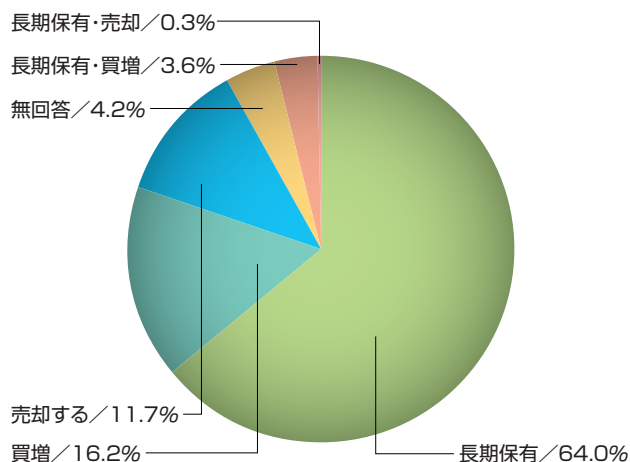
## どのようにして弊社をお知りになりましたか？



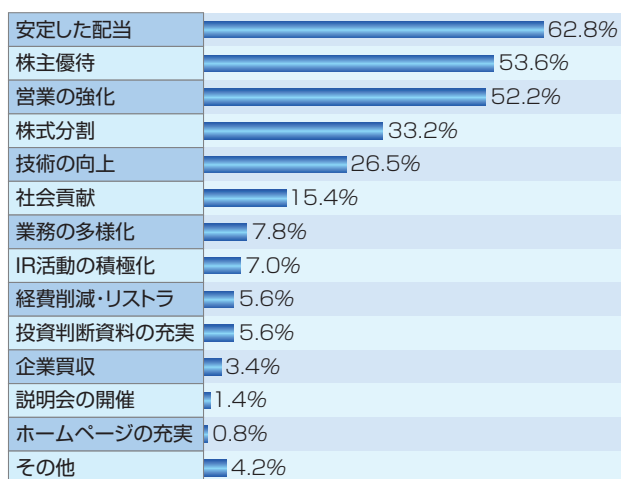
## 弊社株式購入時のポイントを3つまでお選び下さい。



## 今後の弊社株式に関するお考えをお選び下さい。



## 今後弊社に期待することを3つまでお選び下さい。



# 会社概要

- 社名 総合警備保障株式会社
- 本社 東京都港区元赤坂一丁目6番6号
- 設立 昭和40年7月16日
- 資本金 171億5,228万8,700円  
(平成17年3月31日現在)
- 代表者 代表取締役社長 村井 温 (むらい あつし)
- 事業所 本社・5事業本部・58支社・43支店・201営業所  
(平成17年6月1日現在)

## ●取締役 (平成17年6月29日現在)

取締役会長 村井恒夫  
代表取締役社長 村井 温  
代表取締役 益田兼弘  
代表取締役 田村 彰  
取締役 橋尾志良  
取締役 中村雅臣  
取締役 菅野 明

## ●監査役 (平成17年6月29日現在)

常勤監査役 染谷卓美  
常勤監査役 大泉和正  
常勤監査役 伊藤治俊  
監査役 陰山照男

## ●執行役員 (平成17年6月29日現在)

社 長	村井 温	営業本部長 警備運用本部長	執行役員	清瀧守功	警送事業本部長
上席常務執行役員	益田兼弘	企画担当 開発・技術総括担当 コンプライアンス担当 リスク管理担当 情報資産管理担当	執行役員	山田 啓	人事企画担当 海外事業担当
上席常務執行役員	田村 彰	営業本部副本部長	執行役員	谷 藤平	開発・技術副総括担当 開発企画部長
常務執行役員	松本 智	管理・監査担当	執行役員	大野 宏	情報・システム担当
常務執行役員	大西 明	経理担当 経理部長	執行役員	松本誠一	営業本部金融担当 金融営業部長
常務執行役員	橋尾志良	営業本部副本部長	執行役員	中島英夫	営業本部ホームマーケット担当 ホームマーケット営業部長
常務執行役員	澤村章三	営業本部法人担当	執行役員	矢村敏夫	西日本事業本部副本部長
常務執行役員	萩原宏樹	警備運用本部副本部長			
常務執行役員	佐藤 紘	東日本事業本部長			
常務執行役員	佐藤正三	中日本事業本部長			
常務執行役員	中村雅臣	西日本事業本部長			
執行役員	森本榮一	東京事業本部長			

# 株式の状況 (平成17年3月31日現在)

●会社が発行する株式の総数	300,000,000株	●株主数	11,572名
●発行済株式の総数	100,566,742株		

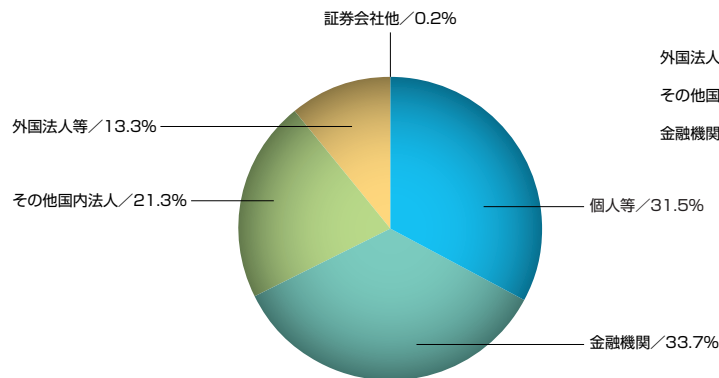
## ●大株主

株主名	持株数 株	出資比率 %
村井恒夫	9,051,923	9.00
総合商事株式会社	7,388,680	7.34
総合警備保障従業員持株会	6,604,030	6.56
埼玉機器株式会社	5,283,980	5.25
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	5,121,100	5.09
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託	4,261,400	4.23
東京海上日動火災保険株式会社	3,420,313	3.40
村井 温	2,941,274	2.92
ザ チェースマンハッタンバンク エヌエイ ロンドン	2,877,160	2.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 （三井アセット信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口）	2,735,600	2.72

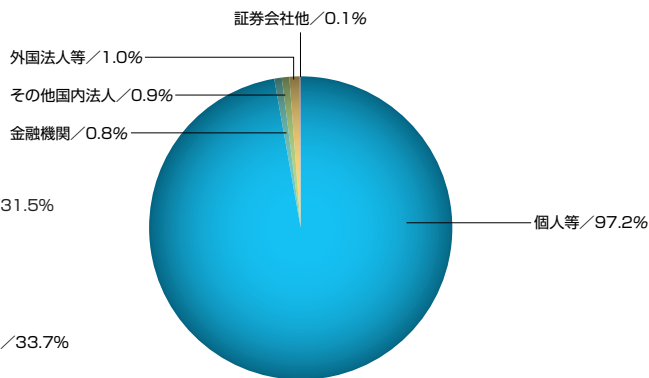
注：1 みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口の所有株式は、株式会社みずほ銀行が退職給付信託として拠出したものであります。  
 なお、当社は株式会社みずほ銀行の持株会社である、株式会社みずほフィナンシャルグループの株式1,180株（出資比率0.0%）、優先株式2,000株（出資比率0.0%）を保有しております。  
 2 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（三井アセット信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口）の所有株式は株式会社三井住友銀行が退職給付信託として拠出したものであります。  
 なお、当社は株式会社三井住友銀行の持株会社である、株式会社三井住友フィナンシャルグループの株式152株（出資比率0.0%）を保有しております。

## ●株式分布状況

所有者別状況（株式数）



所有者別状況（株主数）



# 株主メモ

決算期日 3月31日  
定時株主総会 6月中  
配当金支払株主確定日 利益配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日  
(今期より中間配当を予定しております。)  
名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社  
同事務取扱所 郵便番号168 - 0063  
郵便物送付先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
電話ご照会先 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 (03) 3323 - 7111 (代表)  
同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店  
公告掲載新聞 日本経済新聞

当社は、日本経済新聞に掲載していました決算公告に代えて、  
貸借対照表および損益計算書を当社のホームページに掲載しております。  
(<http://www.alsok.co.jp/ir/kessan.html>)

## IRに関するお問い合わせ

総合警備保障(株) 投資家情報部IR課

TEL : 03-3423-2331

FAX : 03-3470-1565

E-mail : [alsok-ir@alsok.co.jp](mailto:alsok-ir@alsok.co.jp)



総合警備保障株式会社